

第5次基山町総合計画（H28～R 2）  
中間検証による見直し案

令和3年2月  
佐賀県基山町

第5次基山町総合計画につきましては、中間年度にあたる令和2年度において、計画の進捗状況を検証することとなっております。そのため、基山町では、町職員による総合計画プロジェクトチームを設置し、計画に掲載されている各施策の目標値の達成状況、計画前半での取組状況、課題を把握し、計画後半への方向性、取組について検証を行いました。また、基山町が行う事業等に対し、町民の皆様がどの程度満足と感じているか、重要と感じているかを把握するため、令和2年7月に町民満足度調査を実施し、結果から各施策の進捗状況を検証しました。

これらの中間検証に基づき、第5次基山町総合計画に係る必要な中間見直し案を作成しました。

## **1. 第5次基山町総合計画に係る必要な中間見直しの観点 (社会情勢の変化)**

- (1) 総合計画策定当時と比べ、一人暮らしの高齢者が大変多くなってきており、一人暮らしの高齢者への取組の強化が重要となっている。
- (2) 近年、局地的な大雨や大型台風が毎年の様に発生しており、防災への取組の強化が重要となっている。
- (3) 現在新型コロナウイルスが感染拡大している状況であり、今後も新型の感染症の発生、感染拡大が懸念され、発生・感染拡大した際に迅速かつ適切な対応・対策がとれるような日頃の備えが重要となっている。

### **(町民満足度調査の結果)**

- (4) 町民満足度調査の結果(重要度・満足度)から、重要度の1位～3位は、1位「防犯・防災」、2位「高齢者支援」、3位「健康・医療」となっており、重要度の高い「防犯・防災」、「高齢者支援」、「健康・医療」の取組の強化が重要となっている。

### **(中間検証報告書)**

- (5) 中間検証報告書から「高齢者支援」、「防災」、「健康・医療」について取組の強化が必要であり、基本計画の具体的な施策に「一人暮らし高齢者の実態把握と適切なサービス提供」、「防災意識の啓発活動や防災教育」、「様々な状況に応じた避難所運営」、「新型感染症の感染拡大に迅速で適切な対応・対策」の追加が必要となっている。

以上のことから、「高齢者支援」、「防災」、「健康・医療」についての取組の強化を図るため、基本計画の具体的な施策に3つの施策を追加し、1つの施策を修正することを必要な見直し案といたします。

## 2. 第5次基山町総合計画に係る中間見直しの内容

(施策の追加)

### 4. 安心安全 + idea

#### (2) 高齢者支援

##### ①安心できる高齢者支援

●一人暮らし高齢者の実態把握と適切なサービスの提供を実施し、地域で安心して自立した在宅生活をおくることができるよう取り組みます。

##### 【追加の理由・考え方】

令和2年7月末現在、一人暮らしの高齢者は、約850世帯、高齢者のみの世帯は、約1,900世帯となっており、今後益々一人暮らしの高齢者世帯が増加していく中で、一人暮らしとなっても自立した在宅生活を、安心して地域で暮らすことができるような取組が喫緊の課題となっているため。

(施策の追加)

### 4. 安心安全 + idea

#### (5) 防犯・防災

##### ②防災体制の強化

●防災意識の啓発活動や防災教育を実施します。

●様々な状況に応じた避難所運営を行います。

##### 【追加の理由・考え方】

近年、豪雨災害や台風被害は激甚化しており、大規模災害の発生に備えた、町民の防災意識と防災知識向上の取組、様々な状況で避難者に対応できる避難所の充実が重要となっているため。

(施策の修正)

## 4. 安心安全 + idea

### (4) 健康・医療

#### ②地域医療体制の充実

●町民一人ひとりが健康を守るために、感染症予防などに関して適切な行動が取れるよう正しい知識の普及・啓発を行います。また、新型感染症をはじめとした様々な感染症に対して、迅速で適切な対応・対策がとれるよう備えます。

#### 【追加の理由・考え方】

海外への渡航や海外からの来航が年々増大する国際化社会において、今後も新型感染症の発生、国内感染拡大が懸念され、発生・感染拡大した際に迅速かつ適切な対応・対策がとれるような日頃の備えが重要となっているため。